

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月9日～3月15日)

2021年3月17日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ベラルーシ外務省、駐ベラルーシ・ポーランド臨時代理大使に対し在プレスト・ポーランド領事館領事の国外退去を要請。(3/9)
- 保健省、ベラルーシにおいて英国型変異株による感染例が数例確認されたと発表。(3/11)
- ルカシェンコ大統領、憲法委員会メンバーとの会議に出席。(3/15)

【ルカシェンコ大統領動静】

●シェイマン大統領官房長と会談

シェイマン大統領府長官の発言要旨は以下の通り。

・2020年、大統領官房傘下企業は好調であり、成長率は2019年対比150%であった。サービス・製品の売上は、27億ベラルーシ・ルーブルを超えた。付加価値額は2.5倍になり、付加価値労働生産性は、2.6倍であった。

・特に効率が良かったのは、農業セクターであり、総生産成長率は2019年対比115%を超えた。また、穀物、乳製品、牛、鶏、全ての分野で成長を示した。
・建設業界も好調であり、生産高は増加した。しかし、旅行・観光業界は、新型コロナの影響で不調に終わった。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・今後も生産の拡大、新たな方向の成長が課題となろう。例えば、木材加工セクターや旅行・観光業界については注意を向ける必要がある。

・またアフリカ大陸の国々との協力も必要である。今日、農業、建設、輸送分野で協力プロセスが進んでいる。

(3/9 大統領公式ホームページ)

●チェルチェリ国家保安委員会(KGB)委員長と会談し、KGBの現在の活動状況、国家安全保障分野や憲法機構の保護について協議した。

(3/9 大統領公式ホームページ)

●政府高官人事の実施

主な役職の人事は以下の通り。()内は、前職を記載。

1 国家捜査委員会委員長

ドミトリー・ガラー(検事総局副局長)

2 非常事態大臣

ヴァジム・シニャフスキー(グロドノ州執行委員会内務局長)

3 国防軍参謀本部長官、国防省第一次官

ヴィクトル・グレヴィチ(国防軍西方作戦司令部司令官)

4 外務省次官

ニコライ・ポリセーヴィチ(外務省アジア・アフリカ・ラテンアメリカ総局長)

(3/11 大統領公式ホームページ)

●マラジェチュネンスキー地区病院を視察

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・新型コロナで困難な時期に、様々な種類の病気に対する対処方法を学んで頂き感謝する。我々は新型コロナについて何も理解していなかったが、今は多くを学んだ。しかし、油断は禁物である。基本的衛生規則を遵守することが大切である。

・英国型変異株出現について、慌てる必要はない。我々は何をすべきか既に知っている。冷静に切り抜けることができる。

・保険医療への完全な移行には反対である。大規模

な保険医療において、我々はより健康を重視するようになるだろう。米国を例に取ろう。米国では数千万の方が保険に加入しておらず、医療費は高額になる。ベラルーシの医療は無償であるが、自身の健康にあまり気をつけない場合がある。保険制度に移行するには、我々はより健康を気にする必要がある。とはいえ、ベラルーシにおいて保険医療は発展している。直近5年間で自費保険加入者は2倍に増え、50万人を超えている。しかし、私は、無償医療という原則を固持する。我々は人を選別することはない。

・新型コロナウイルスの自国製ワクチンの生産は、今年下半期から開始されるであろう。3月末までに露製ワクチンの国内製造が始まる。世界的に高評価を受けている中国製ワクチンも供給される。つまり、様々なワクチンを提供できる。

(3/12 大統領公式ホームページ)

●スキー大会「ミンスク・シュプール」に参加。

(3/13 大統領公式ホームページ)

●憲法委員会メンバーとの会議に出席。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・27年前採択された憲法は、ベラルーシ国民の自由で、平和な、安定した生活という新たな時代の象徴となった。

・この27年間、我々は多くの事を成し遂げた。日々の生活は、我々が選んだ道は正しかったと何度も証明した。我々の共通の家に対する外的な力による不和を持ち込もうとする試みにもかかわらず維持されてきた、この国の平和と秩序、社会における同意が、その指標である。

・今日、ベラルーシ国民は、自身の平和な生活と主権を失う可能性がありうることを認識した。主権は、我々の社会における政治的、個人的意見の相違を超越した価値観であり、強い政府と国民がその価値観の保証となる。

・憲法改正において、最近を含む過去の教訓を考慮する必要がある。あなた方は、憲法改正手続きにおいてそれぞれの役割があることを意識してくれている

であろう。あなた方は、新憲法の共同作成者として歴史に入る。この国の未来に対し責任を持つこととなる。我々は、現状の憲法と共に、主権を有し、法的効力を有し、独立性がある社会国家として形成された。25年以上経っても、本憲法は絶対的に効力を有する。社会アンケートの結果、65%の者が、憲法を改正する必要はないと回答している。

(3/15 大統領公式ホームページ)

【外交】

●ベラルーシ外務省、駐ベラルーシ・ポーランド臨時代理大使に対し在プレスト・ポーランド領事館領事の国外退去を要請。

(3/9 ベラパン通信)

●ロシア国家院、ベラルーシに対するオストロヴェツ原発の融資の再構築を承認。

(3/10 ベラパン通信)

●ポーランド外務省、在ポーランド・ベラルーシ大使館員1名のペルソナ・ノン・グラータを通告。

(3/10 ベラパン通信)

●ベラルーシ外務省、在グロドノ・ポーランド領事2名の国外退去を要請。

(3/11 ベラパン通信)

●ポーランド外務省、在ポーランド・ベラルーシ大使館領事、在ベルストク・ベラルーシ総領事館領事、計2名の国外退去を要請。

(3/12 ベラパン通信)

【経済】

●エネルギー省、3月10日にオストロヴェツ原発第一エネルギーブロックを再停止する計画を発表。

(3/9 ベラパン通信)

●1月、ベラルーシの貿易高、昨年同月対比 11%、増加。

(3/11 ベラパン通信)

●ベルエネルゴ社(ベラルーシ政府系電力事業会社)、中国電力工程有限公司と相互理解に関する覚書を署名。

(3/11 ベラパン通信)

●2020年、国営セクター企業の年間利益、22.7分の1の2億4200万ルーブルに減少。

(3/12 ベラパン通信)

●2020年、ベラルーシ IT 産業特区「ハイテクパーク」入居企業の輸出額、25%増加の27億ドル。

(3/12 ベラパン通信)

●10日に稼働停止したオストロヴェツ原発第一エネルギーブロック、14日に再稼働。

(3/15 ベラパン通信)

【内政】

●保健省、ベラルーシにおいて英国型変異株による感染例が数例確認されたと発表。

(3/11 ベラパン通信)

●3月14日から27日かけて実施される露・ベラルーシ共同演習のため、露空軍部隊がベラルーシに到着。

(3/14 ベラパン通信)

●保健省、ベラルーシにて新型コロナウイルス向け中国製ワクチンの接種開始を発表。

(3/14 ベラパン通信)

【抗議の動き】

●コレスニコヴァ氏(移行評議会幹部)の拘留期間、5月8日まで延長。

(3/9 ベラパン通信)

●ズナク氏(移行評議会幹部)の拘留期間、5月9日まで延長。

(3/9 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ガルノ・カナダ外務大臣と電話会談し、カナダに対しベラルーシ政権への厳格な姿勢、EU 及び米国との協力を要請。

(3/10 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、デレク・ショレット米 국무省顧問と電話会談し、ルカシェンコ政権への米国制裁の拡大、欧州安全保障協力機構のプラットフォームにおける民主化と交渉の組織に関する法案の実現について協議した。

(3/10 ベラパン通信)

(了)